# 養生上屋組立中、未固定の足場に乗り墜落

墜落転落ー７

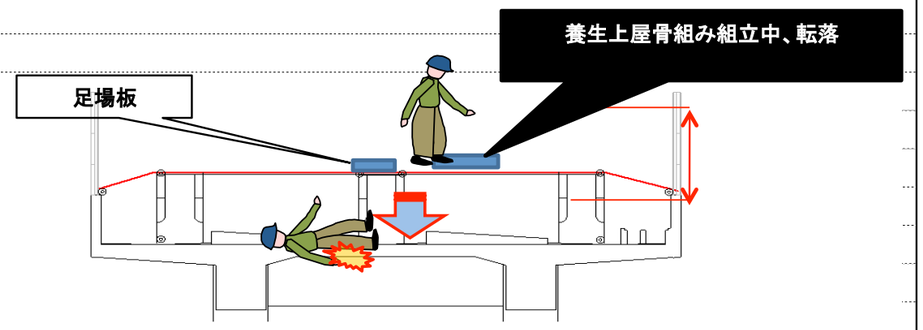
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 災害発生時記録 | 発生月日　時 | 月　15日（金）　10時　20分 | | 工事内容 | 養生足場の組立て（枠組み足場材） | |
| | 被災者 | 職種 | とび工 | 経験年 | 10 | 所属 | 元請　　直営　　○3次会社　　1人親方　　請負外契約 |
| | 被災程度 | 右大腿部刺創（7針縫）と胸部打撲 | | | | |

**災害発生状況（写真）**

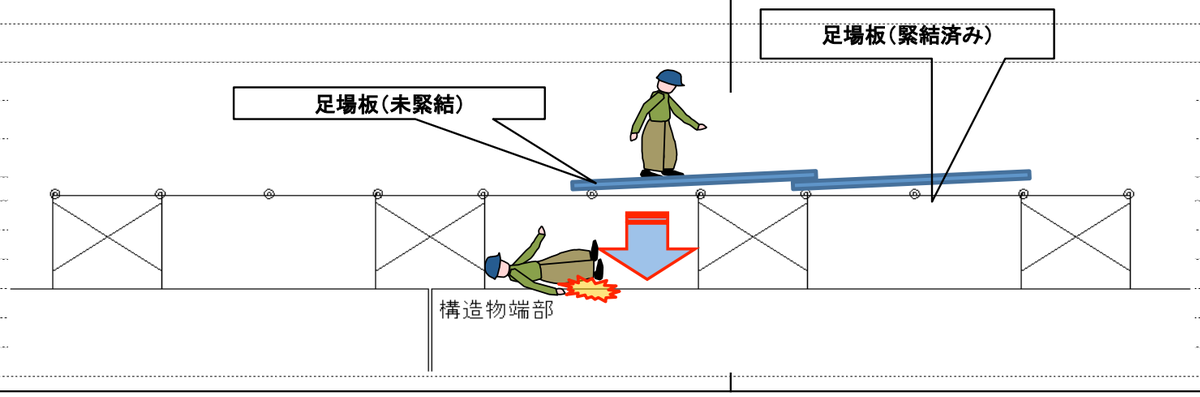
当日、橋梁上部工事で橋面上に養生上屋囲いを建枠と足場板を使用して組立てていた。 被災者は屋根材として使用する鋼製足場板を設置していたが、固定されていない足場板に乗って作業をしていた時、足場板が滑りバランスを崩して1．8m下のスラブコンクリート上に墜落した。　その際スラブ面から突き出ていたジベル筋（D10mm）が右太ももに刺さり負傷した。

**初期の対策状況含む事項(写真含)**

負傷の程度は右大腿刺創と胸部打撲で出血あり。
消毒のため5cm切開、化膿止めの処置後縫合（7針程）、腱、神経に異常なし。
レントゲン・CTスキャン結果より骨等に損傷、異常無し。




| 番号 | 災害発生要因 | 人的要因 | 物的要因 | 管理的要因 | 同種工事の再発防止対策 | コメント(追記・確認すべき事項) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 固定していない梁材（足場板）の上に乗ったこと。 | ◎ | | | 設置した足場板は直ちに固定するよう指導を強化し作業手順書に明記した | 固定されていない足場板がずれて墜落する初歩的な災害です。高さは2m未満であっても墜落防止対策を講じることが必要です。更には上屋に上がらなくても出来る作業は下から行うなど墜落のリスクを除去する方法を検討する事。 |
| 2 | 路盤RCのジベル筋の先端を養生していなかったこと。 | ○ | | ○ | ジベル筋に保護用の防護キャップを設置した。 | |




調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）